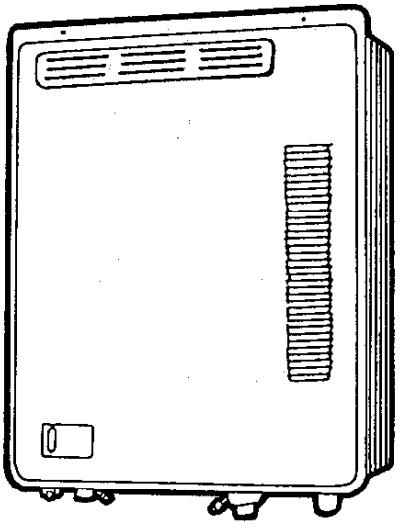
ガス温水暖房システム　暖ライフ150

44−761型

型式名　GH-151



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

SA J8 063

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス温水暖房システム 暖ライフ150 をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

- ごあいさつ・もくじ……1
- 特長・機能の紹介……2
- 暖ライフシステムの概要……3
- 必ずお守りください……4
- 各部の名まえと扱いかた……7
- 初めてお使いいただくときは……8
- 使用方法……9
- 凍結予防方法……12
- 点検・お手入れ……13
- 故障かな?と思ったら……14
- 仕　様……17
- 保管とアフターサービス……18

特長・機能の紹介

1 ハイパワーなので、多室暖房に最適です。
（最大暖房能力は15000Kcal/hの暖房専用機で、5室でも同時に使用できます。

2 屋外設置型ですので、より安全です。
また静音設計により、夜間でも隣家に気がねなく使用できます。

3 温水式の暖房なので、おだやかでソフトな暖房を実現します。

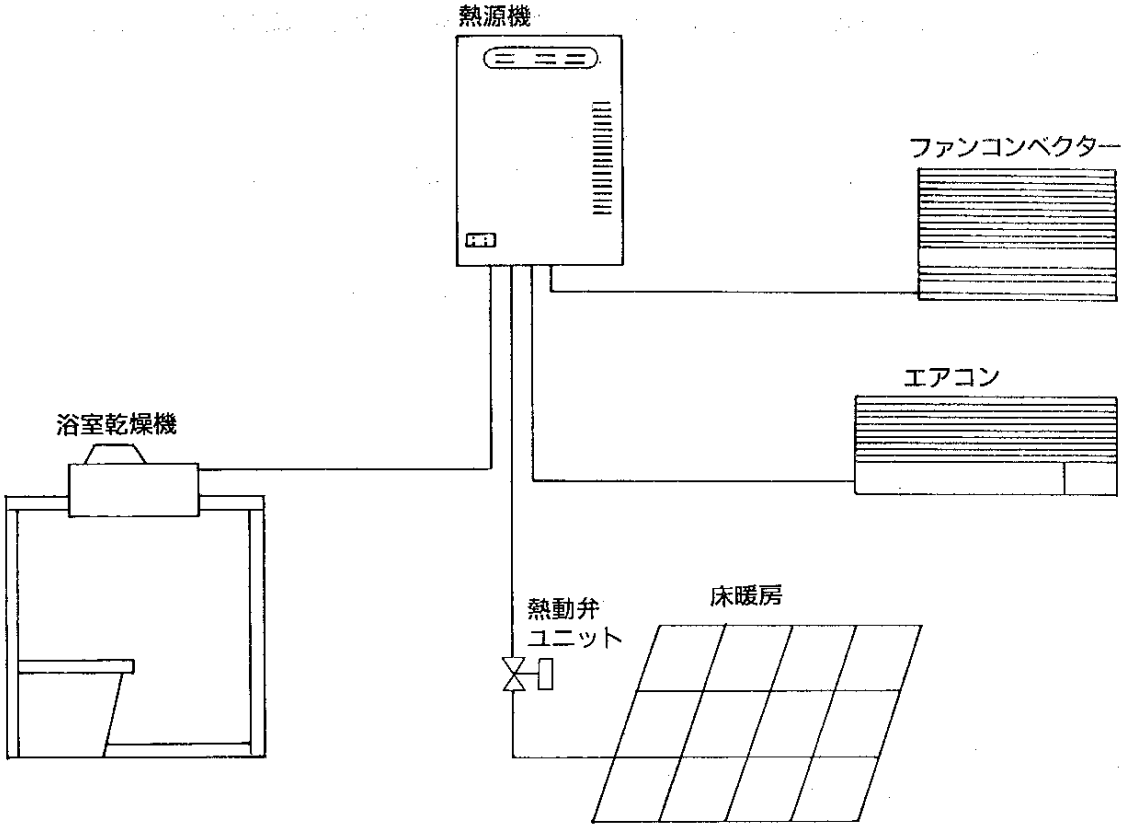
4 熱源機の点火・消火はファンコンベクター等で室内より操作できます。
〈マルチコントロール方式〉

5 暖房水自動変温制御（ＡＶＴ機能）により、省エネ運転ができます。

6 暖房水の補給は不要です。
（自動補給水機能を搭載しました。）

7 別売のメインリモコン（49－470型）を使えば、「おはよう運転予約」、「おやすみ運転」ができます。
※放熱器、エアコンによっては「おはよう運転予約」、「おやすみ運転」ができないものがあります。

暖ライフシステムの概要



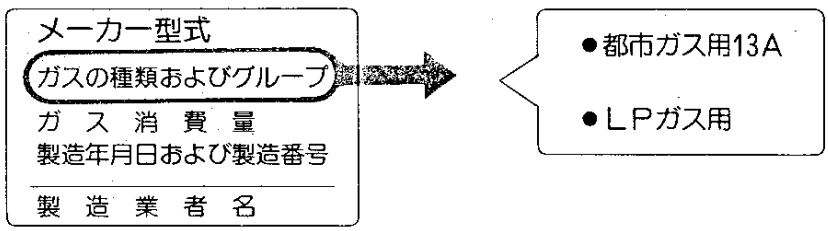
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
器具本体の正面左下部にある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘　板）



●ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

●この器具は暖房専用機ですから、給湯に使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

●器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

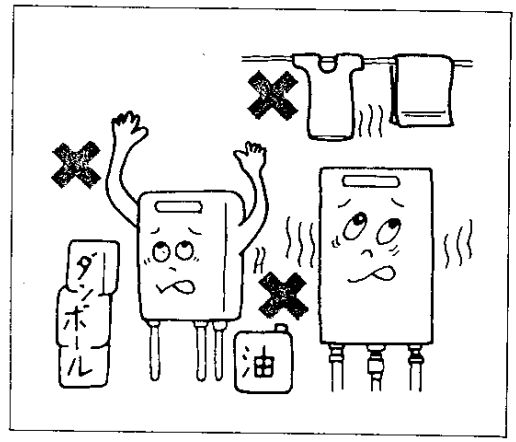
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

- 使用後は放熱器等の運転スイッチを「切」（リモコンがついている場合はリモコンの運転スイッチも「切」）にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかときどき確かめてください。

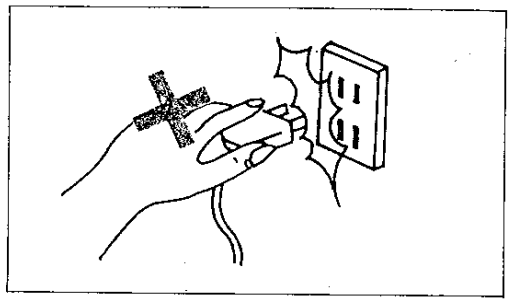
火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



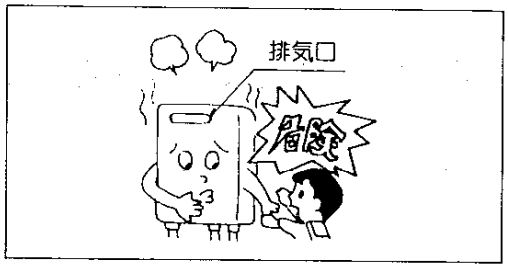
ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。
  〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。



やけどのご注意

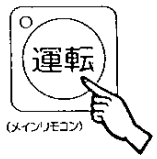
- ご使用中および使用後しばらくは、排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。



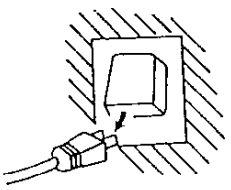
異常時の処置

●異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社に連絡してください。 **(注) 絶対に使用しないでください。**

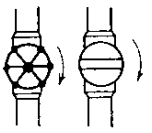
(1)放熱器等の運転スイッチを「切」にする。(メインリモコンが付いている場合は運転スイッチも「切」にする。)



(2)電源プラグをコンセントから抜く。



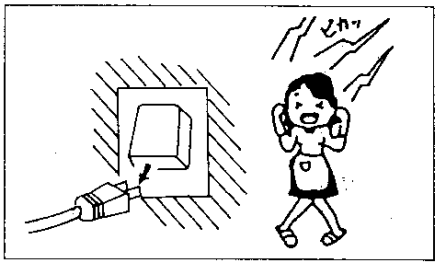
(3)給水元せん・ガス元せんをしめる。



雷雨時のご注意

●近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。)

●雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



凍結についてのご注意

●冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は12ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

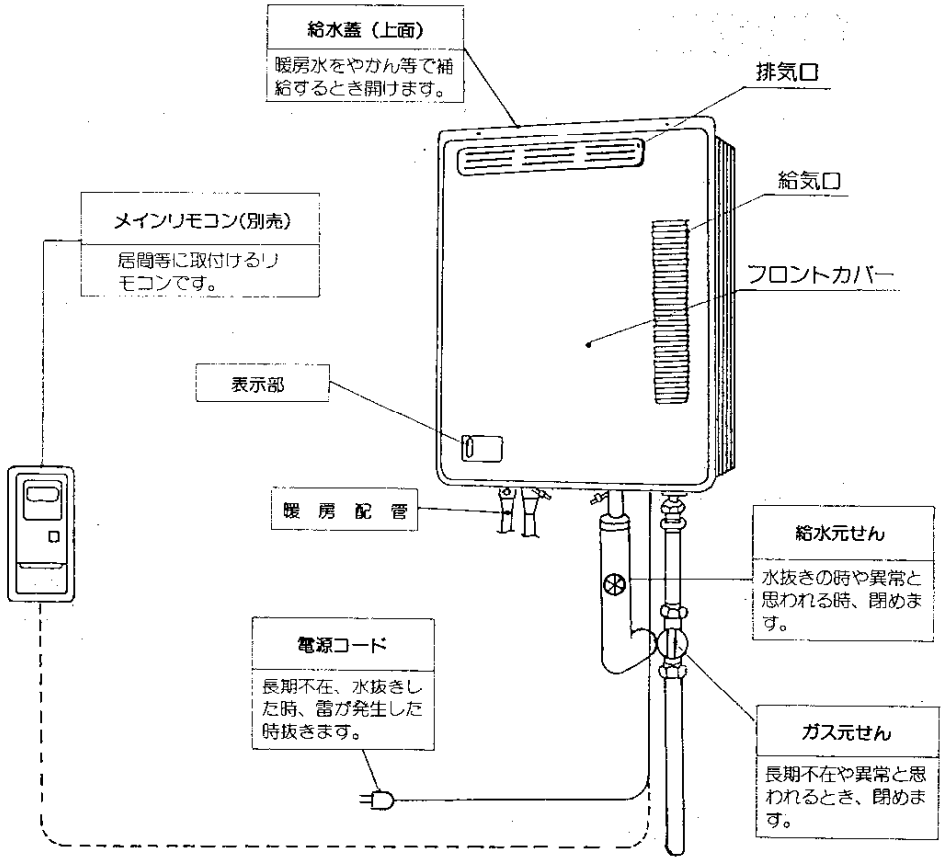
①器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。(有料)
②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
③再使用の場合は、凍結がとけてから器具及び配管から水漏れがないことを確認後、9ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。

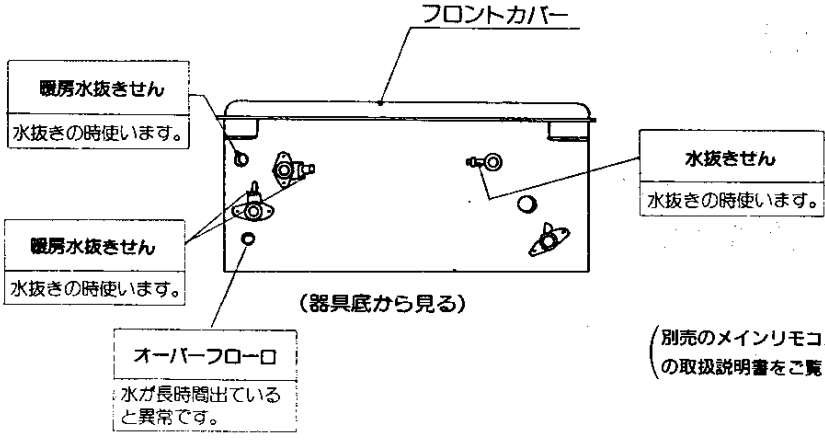
日常の点検・手入れ

●日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは13ページをごらんください。)
●故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
●このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

各部の名まえと扱いかた

●熱源機





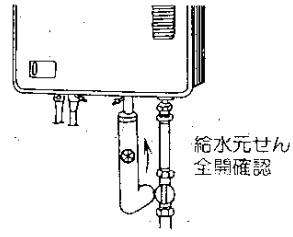
（器具底から見る）

（別売のメインリモコンについては、リモコンの取扱説明書をご覧ください。）

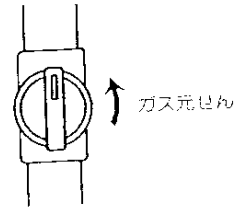
初めてお使いいただくときは…

●ご使用前の準備と確認

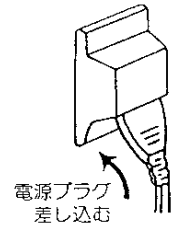
1 給水元せん(器具の下方にあります)の全開を確認します



2 ガス元せん(器具の下方にあります)を全開にします



3 電源プラグ(器具の周辺にあります)をコンセントに差し込みます



使用方法

※〈ガス温水暖房システム 暖ライフ150 〉は、マルチコントロールシステム
(各放熱器等からの運転が可能)を採用しております。

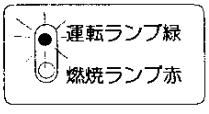
●放熱器等(暖房)の取扱説明書もご覧ください。

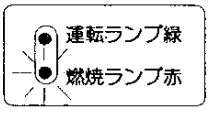
マルチコントロールシステムの場合

1 運転

●放熱器等の運転スイッチを「入」にします。

●熱源機表示部の運転ランプ(緑)が点灯し、次にバーナが着火すると燃焼ランプ(赤)が点灯します。



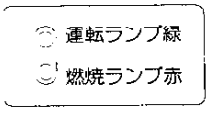


メインリモコン(別売)の運転スイッチは「切」のまま使用してください。

2 停止

●放熱器等の運転スイッチを「切」にします。

●運転ランプ、燃焼ランプとも消灯し暖房運転を停止します。

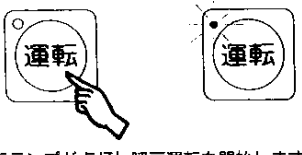


マルチコントロールシステムでない場合(別売のメインリモコンが必要です)

●リモコンの取扱説明書にくわしく説明してあります。

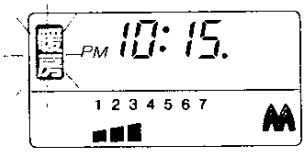
1 運転

●メインリモコンの運転スイッチを押します。



●運転ランプが点灯し暖房運転を開始します。

〈表示画面〉

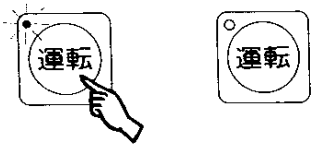


●放熱器等の運転スイッチを「入」にします。

2 停止

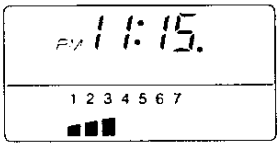
●放熱器等の運転スイッチを「切」にします。

●メインリモコンの運転スイッチを押します。



●運転ランプが消灯し暖房運転を停止します。

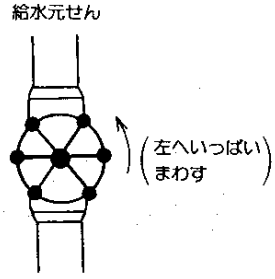
〈表示画面〉



暖房水の補給について

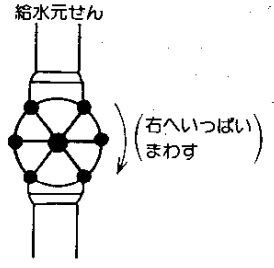
●暖房水は自動補給

- 暖房水は蒸発などにより減少します。
- 熱源器の暖房水が不足しますと、暖房水は自動的に補給されます。熱源機右下の給水元せんは開いたままにしておいてください。
- 断水時等に暖房水が一定量以下になると、安全装置が働き、暖房運転は停止します。



●暖房水補給停止

- 万一、熱源機や放熱器から水が漏れたときには、給水元せんを閉め暖房水の補給を停止してください。

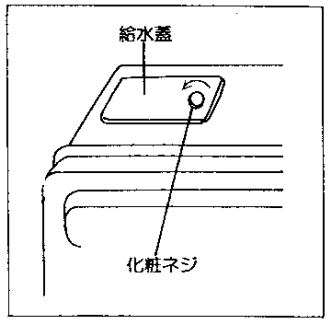


やかんなどで補給するには

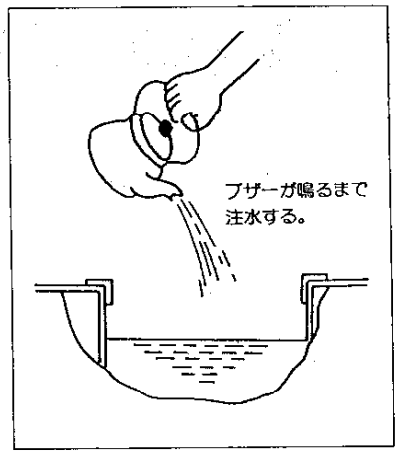
- 暖房運転の途中で火が消えた場合、または点火操作を行っても火がつかない場合、暖房水が減っています。(表示部の運転ランプ（緑）および燃焼ランプ（赤）が点滅します。また別売のメインリモコンが付いている場合、リモコンの画面にエラー表示「E1C」を表示します。
- 給水配管がされていないなどの事情により、自動補給ができない場合は、次の方法により水を補給してください。

(1)ファンコンベクター等の運転スイッチを停止にしてください。

(2)給水蓋の化粧ネジを手でゆるめあけてください。(給水蓋は器具の上面にあります。)



(3)ブザーがなるまでヤカンなどで注水してください。
(4)逆の手順で元の状態にもどしてください。



ご注意

タンク内に注入する水は必ず水道水を使用してください。地下水などを使用すると熱源機が損傷する原因となります。

- 注水は月に１回程度ですが暖房の使用時間により異なります。
- 水の減りかたが速かったり、急に速くなった場合は水漏れしている可能性があります。配管をよくお調べのうえ、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。
- 暖房水は不凍液の水溶液です。適正濃度を保つために１年に一度は不凍液濃度の点検を、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にお申しつけください。

使用方法・凍結予防方法

冬期は暖かい地域でも熱源機や温水回路内の水が凍結し破損事故が起こることがあります。
このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。

■不凍液による方法

●暖房システムの凍結予防のため大阪ガス指定の不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は器具に悪い影響をあたえる場合がありますので使用しないでください。

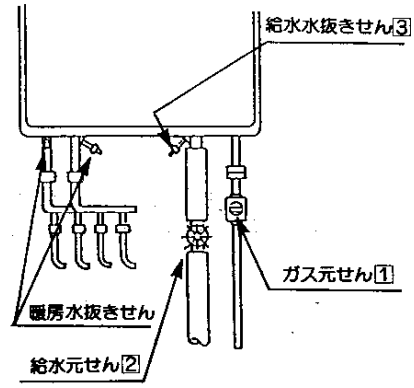
●不凍液の取扱いについては不凍液の取扱説明書に記載してある方法で正しくご使用ください。

■ポンプの自動運転による方法

①すべての放熱器の暖房水回路をあけてください。
（放熱器の取扱説明書を参照してください。）
②気温が低くなると自動的にポンプ運転が始まり、暖房システム内の水を循環させて凍結を予防します。
※電源プラグが抜けている場合はポンプは運転しませんので注意してください。

■自動補水部の凍結予防（水抜き）

長時間にわたって使用しない場合は必ず以下の方法で自動補水部の水抜きを行なってください。
●水抜きにより凍結予防を行なう場合は電源を抜きますので、暖房回路には必ず不凍液をご使用ください。
①電源プラグを抜く。
②ガスの元せん[1]をしめる。
③給水元せん[2]をしめる。
④給水水抜きせん[3]を左にまわしてあける。
●以上の操作で器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
●再度使用されるときは、次の方法で行なってください。
①水抜きせん[3]をしめる。
②給水元せん[2]をあける。
③ガスの元せん[1]をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。



点検・お手入れ

●点検・手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- フロントカバーなどは、外さないでください。

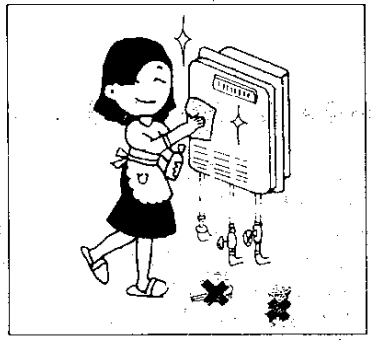
●点　検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

●お手入れ

●外装の掃除

やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）



点検お手入れ後の確認

- 点検、お手入れの後は器具が正常に作動するか確認してください。
  万一、異常な燃焼、異常音、悪臭を感じられたときはお買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、２～３年に１回ぐらいバーナや各部の作動が"正常"かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための、"ひけつ"です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

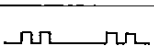
ご使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い求めの販売店または、大阪ガス支社へ連絡してください。

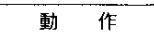
現象 / 原因	暖房運転しない	使用中火が消えて冷風がでる	暖房が快適でない	熱源機前面の燃焼ランプが点滅する（リモコンにOKモニターEICが点灯する）	暖房中に異常音がする	ガスの臭いがする	処置方法	参照ページ	お客様	大阪ガス
電源プラグがコンセントから外れている。	○						電源プラグをコンセントに確実にさし込む。	8	○	
ガス元せんが閉まっている。	○						ガス元せんを確実に開ける。	8	○	
熱源機のタンク内の水位が下がっている。（給水配管されていない場合）		○					ブザーが鳴るまで注水する。	10	○	
熱源機の給排気部の周辺に障害物がある。		○					空気の流れが良くなるように、障害物を取り除く。	5	○	○
ガス配管中の空気が抜けていない。					○		点火操作をくり返す。	9	○	
暖房配管中に空気が混入している。			○		○		点火操作をくり返す。	9	○	
暖房配管の接続部水漏れ。		○		○			水漏れ箇所を調べ、修理を依頼する。	15	○	○
ガス配管接続部のゆるみ。						○	ガス元せんを閉めて、大阪ガスへ連絡する。	6		○
リモコンの設定温度が低い。（リモコンが付いている場合）		○	○				リモコンの設定温度を上げる。		○	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

●燃焼ランプ、運転ランプの表示をお調べください。

※熱源機前面部の燃焼ランプ、運転ランプにより表示します。

燃焼ランプ	動　作	内　容	対　処
消　灯		温度センサー系統の不具合	※
		水位検出系統の不具合	※
断続点滅		暖房回路漏水検出	※
連続点滅		炎（燃焼）検出系統の不具合	電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで、点滅が止まれば正常です。
連続点滅		ファン回転検出系統の不具合	※

運転ランプ 燃焼ランプ	動　作	内　容	対　処
断続点滅		暖房水が減っている(給水配管されていない場合)	10,11ページを参照して水を補給してください。

※印又は不明な場合はお買い求めの販売店または大阪ガス支社に表示をご連絡ください。

●次のような場合は故障ではありません。

こんな場合	理　由
室内機の運転つまみを操作しても温風が出てこない。	冷風防止サーモの働きにより、温水の温度が上昇してから、温風が出はじめます。配管により異なりますが約3～5分かかります。
点火したとき「ポッ」という音がする。	外気条件により起こることがあります。
はじめて運転するとき、油のやけるような臭いがする。	部品加工用の油が焼けるためです。
運転中ヤカンで湯を沸かすような音がする。	温水が加熱される音です。
熱源機排気部より湯気が出る。	寒いときなど、排気中の水分が冷えて、湯気になります。
はじめて運転するとき、なかなか点火しない。	ガス管の中に空気が入っているためです。点火操作をくり返してください。
設置後はじめて運転したとき、1～2日で注水が必要となった。（給水配管がされていない場合）	配管中の空気がじゅうぶんに抜けていないためです。点検し、水漏れがなければ注水し、そのままご使用ください。（注水方法は10、11ページを参照してください。）
運転中、燃焼ランプが点灯、消灯をくり返す。	暖房負荷が小さいときは、熱源機が点火、消火をくり返し制御することがあります。
冬期など寒いときポンプが自動的に動く。	凍結破損予防のため、ポンプの自動運転を行ないます。

●安全装置の種類とその働き

■下記の異常時には、自動的に運転を停止します。

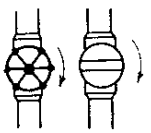
- ●バーナの炎が消えた場合……立消え安全装置
- ●暖房回路の水が万一極端に減った場合……空だき防止装置
- ●空だきした場合……空だき安全装置（※）
- ●器具の温度が異常に上昇した場合……過熱防止装置（※）
- ●電気回路に漏電が生じた場合……漏電安全装置（※）

●安全装置が作動したときの処置方法

●点火しなかったり、ご使用中にメーンバーナが消火したときは、14、15ページの「故障かな？と思ったら」に従ってください。
また、※印の安全装置が働いた場合には、放熱器等の運転スイッチを「切」にし（メインリモコンが付いている場合はリモコンの運転スイッチを「切」にする）、ガス元せん・給水元せんを閉めてから、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

(1)放熱器等の運転スイッチを「切」にする。
（メインリモコンがついている場合は運転スイッチも「切」にする。）

(2)給水元せん・ガス元せんをしめる。



仕様

機種名		ガス暖房専用機
品番		44--761型
型式名		GH－151
暖房方式		温水循環方式
設置方式		屋外設置方式
着火方式		ダイレクト着火
外形寸法	本体	高さ615mm×幅470mm×奥行205mm
	メインリモコン（別売）	高さ196mm×幅96mm×奥行22mm
重量	本体	25kg（満水時29kg）
	メインリモコン（別売）	0.6kg
最低作動水量		0（締切り使用可）
ポンプ機外揚程		9mH2O以上（6ℓ/分のとき）
膨張タンク有効容量		3.2ℓ
温度制御方式		電子式ガス比例制御およびON-OFF制御方式
温度調節		80℃、70℃、65℃の3段階自動制御 80℃、70℃、65℃、60℃、55℃、50℃、45℃の7段階可変
安全装置		空だき安全装置、立消え安全装置、空だき防止装置 過熱防止装置、凍結予防装置、過電流防止装置 ファン回転数検出装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置
消費電力		最大145W（凍結予防運転作動時125W）
接続	ガス	R1 2オネジ（15A）
	給水	R1 2オネジ（15Aソルダー継手付）
	暖房	G3 4オネジ（20Aソルダー継手付）
	オーバーフロー	R1 2オネジ（15A）
附属品		ソルダー継手（一式）
別売部品		メインリモコン、据置台、配管カバー、壁掛金具
BL品番		FS-151RFA

ガスグループ	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)	標準出力（kcal/h）（能力最大時）
都市ガス13A	18500	15000
LPガス	1.54kg/h	15000

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

●夏場など長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガスの元せんを閉じる。
(2)給水元せんを閉じる。
(3)電源プラグを抜く。

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●まず14～16ページの「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
(1)品　名……ガス温水暖房システム　暖ライフ150
(2)品　番……正面左部に貼付してあります。
(3)現　象……不具合内容
(4)道　順……(できるだけ詳しく)

(例)

(N)44-761(U)
大阪ガス株式会社
744　761　02
(FS-151RFA)

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●この暖房専用機には保証書がついています。
●保証書に記載のように、暖房専用機およびメインリモコン（別売）の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

●無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
●補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

■■■■ 大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ■■■■

大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3丁目2番95号	☎大　阪06(586)3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2丁2番19号	☎　堺　0722(38)1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39－6	☎高　槻0726(71)0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河　内0729(62)1131
兵庫支社	〒650 神戸市中央区東川崎町1丁目8番2号	☎神　戸078(360)3100
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京　都075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈　良0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目5	☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫　路0792(85)2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊　岡0796(23)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680の1	☎草　津0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦　根0749(22)3131
(長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長　浜0749(62)7171)
本社・ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大　阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

「おねがい

ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。」